

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S4 #18

Top 10 Japanese Songs: Sōranbushi

CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 3 Romanization
- 4 English
- 5 Vocabulary
- 6 Sample Sentences
- 7 Grammar

18

KANJI

1. ソーラン節
2. 「ヤーレンソーランソーラン...」という歌い出しの『ソーラン節』。意味は分からなくとも、インパクトのある歌い出しで印象に残るこの曲は、北海道の民謡です。
3. 「民謡」という日本の音楽のジャンルを初めて聞く人もいるでしょうね。簡単に説明すると、「特定の地域で口伝えに歌われてきた伝統的な曲」のこと。1987年（昭和62年）の調査では、なんと約58,000曲もの民謡が今でも各地に残っているのだそう。
4. その内容はいくつかに分類でき、婚礼や正月などおめでたい席で歌われるものや、盆踊りのように身振り手振りのついた歌、さらには子守唄も「民謡」の仲間です。
5. 冒頭に紹介した『ソーラン節』は、民謡の中でも最も数の多い「労働歌」に属します。これは農業や漁業など作業をする際に仕事の苦しさや単調さをまぎらわしたり、仕事の効率を上げたりするために手を動かしながら歌う歌。
6. 『ソーラン節』はニシン漁の歌で、網を引き上げるときの掛け声、「やれ、そおら、そおら...」が変化したものだと言われています。極寒の海に漕ぎ出した船上での肉体労働はとてもつらいもの。明るく力強いメロディは、漁に携わる男たちをさぞ元気づけたことでしょう。
7. 近年では、テレビドラマで中学生が歌い踊って有名になった現代風のアレンジも聞くことができます。
8. 北海道だけでなく全国的に、また幅広い世代に親しまれている民謡の代表曲が『ソーラン節』だと言えるでしょう。

KANA

1. ソーランぶし
2. 「ヤーレンソーランソーラン...」といううたいだしの『ソーランぶし』。いみはわからなくとも、インパクトのあるうたいだしでいんしょうにのこるこのきょくは、ほっかいどうのみんようです。
3. 「みんよう」というにほんのおんがくのジャンルをはじめてきくひともいるでしょうね。かんたんにせつめいすると、「とくていのちいきでくちづたえにうたわれてきたでんとうてきなきょく」のこと。せんきゅうひゃくはちじゅうななねん（しょうわろくじゅうにねん）のちょうさでは、なんとやくごまんはっせんきょくものみんようがいまでもかくちにのこっているのだそう。
4. そのないようはいくつかにぶんるいでき、こんれいやしょうがつなどおめでたいせきでうたわれるものや、ぼんおどりのようにみぶりてぶりのついたうた、さらにはこもりうたも「みんよう」のなかまです。
5. ぼうとうにしょうかいした『ソーランぶし』は、みんようのなかでももっともかずのおおい「ろうどうか」にぞくします。これはのうぎょうやぎょぎょうなどさぎょうをするさいにしごとのくるしさやたんちょうさをまぎらわしたり、しごとのこうりつをあげたりするためにてをうごかしながらうたううた。
6. 『ソーランぶし』はニシンりょうのうたで、あみをひきあげるときのかけごえ、「やれ、そおら、そおら...」がへんかしたものだといわれています。ごっかんのうみにこぎだしたせんじょうでのにくたいろうどうはとてもつらいもの。あかるくちからづよいメロディは、りょうにたずさわるおとこたちをさぞげんきづけたことでしょう。
7. きんねんでは、テレビドラマでちゅうがくせいがうたいおどってゆうめいになったげんだいふうのアレンジもきくことができます。
8. ほっかいどうだけでなくぜんこくてきに、またはばひろいせだいにしたしまれているみんようのだいひょうきょくが『ソーランぶし』だといえるでしょう。

ROMANIZATION

CONT'D OVER

1. Sōranbushi
2. "Yāren sōran sōran..." to iu utaidashi no "sōranbushi". Imi wa wakaranakutomo, inpakuto no aru utaidashi de inshō ni nokoru kono kyoku wa, Hokkaidō no minyō desu.
3. "Minyō" to iu Nihon no ongaku no janru o hajimete kiku hito mo iru deshō ne. Kantan ni setsumeisuru to, "tokutei no chiiki de kuchizutae ni utawarete kita dentōteki na kyoku" no koto. Sen kyū-hyaku hachi-jū nana-nen (shōwa roku-jū ni-nen) no chōsa de wa, nanto yaku go-man hassen-kyoku mono minyō ga ima demo kakuchi ni nokotte iru no da sō.
4. Sono naiyō wa ikutsu ka ni bunrui deki, konrei ya shōgatsu nado omedetai seki de utawareru mono ya, bon'odori no yō ni miburiteburi no tsuita uta, sara ni wa komoriuta mo "minyō" no nakama desu.
5. Bōtō ni shōkai shita "sōranbushi" wa, minyō no naka demo mottomo kazu no ōi "rōdōka" ni zokushimasu. Kore wa nōgyō ya gyogyō nado sagyō o suru sai ni shigoto no kurushisa ya tanchōsa o magirawashitari, shigoto no kōritsu o agetari suru tame ni te o ugokashi nagara utau uta.
6. "Sōranbushi" wa nishinryō no uta de, ami o hikiageru toki no kakegoe, "yare, sōra, sōra..." ga henka shita mono da to iwarete imasu. Gokkan no umi ni kogidashita senjō de no nikutairōdō wa totemo tsurai mono. Akaruku chikarazuyoi merodi wa, ryō ni tazusawaru otokotachi o sazo genkizuketa koto deshō.
7. Kin'nen de wa, terebi drama de chūgakusei ga utai odotte yūmei ni natta gendaifū no arenji mo kiku koto ga dekimasu.
8. Hokkaidō dake de naku zenkokuteki ni, mata habahiroi sedai ni shitashimarete iru minyō no daihyōkyoku ga "sōranbushi" da to ieru deshō.

ENGLISH

1. "Sōranbushi"

CONT'D OVER

2. "Yāren sōran sōran" is how the song "Sōranbushi" begins. This song, the impact of whose opening lines leaves you with a strong impression even if you don't understand their meaning, is a Hokkaido "minyō," or "Japanese folk song."
3. There will be those among you who are hearing of this genre of Japanese music, "minyō," for the first time. To put it simply, "minyō" are traditional songs from specific areas passed down from mouth to ear.
4. According to a study conducted in 1987 ("Shōwa" 62), apparently more than 58,000 "minyō" songs were still extant all over the country.
5. These songs can be categorized into those that are sung at celebratory occasions such as weddings or at the New Year and those accompanied by gestures such as those sung at the Bon Festival dances; furthermore, lullabies also belong to the "minyō" group.
6. "Sōranbushi," which I brought up at the beginning, comes under the classification of folk songs that are most numerous... labouring songs. These are songs sung by workers in industries such as agriculture and fishing as they use their hands, and are intended to distract the singers from the hardship and monotony of the labour, and to improve the efficiency of the labour.
7. "Sōranbushi" is a herring fishery workers' song, which is said to have come from the yell "yare, sōra, sōra..." used to spur themselves on when hauling up the fishing nets. Physical labour on board a boat rowing through the freezing cold sea would have been arduous indeed. No doubt this cheerful, vigorous melody raised the spirits of those men working as fishermen.
8. In recent years, you could hear this song in a now-famous modern arrangement performed by middle school students dancing and singing, which was featured in a television drama.
9. Known by people of all generations not only in Hokkaidō but all over Japan, "Sōranbushi" is a song that you could say is representative of all Japanese folk songs.

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
口伝え	くちづたえ	kuchizutae	oral tradition
婚礼	こんれい	konrei	wedding
属する	ぞくする	zokusuru	to belong to
効率	こうりつ	kōritsu	efficiency
身振り手振り	みぶりてぶり	miburiteburi	gestures
掛け声	かけごえ	akegoe	shout, call
漕ぎ出す	こぎだす	kogidasu	to start rowing, to row out
単調さ	たんちょうさ	tanchōsa	monotony
極寒	ごっかん	gokkan	intense cold, severe cold

SAMPLE SENTENCES

<p>その物語は、口伝えで広まった。 <i>Sono monogatari wa kuchizutae de hiromatta.</i></p> <p>That story was spread by word of mouth.</p>	<p>当ホテルは婚礼を引き受けます。 <i>Tō hoteru wa konrei o hikiukemasu.</i></p> <p>Our hotel caters for weddings.</p>
<p>教育学は、人文社会学に属する。 <i>Kyōikugaku wa jinbunshakaigaku ni zokusuru.</i></p> <p>Pedagogy comes under humanities and social sciences.</p>	<p>その方法では効率が悪い。 <i>Sono hōhō de wa kōritsu ga warui.</i></p> <p>That method is not efficient.</p>
<p>言葉が通じないので、身振り手振りで意思疎通を図る。 <i>Kotoba ga tsūjinai no de teburimiburi de ishisotsū o hakaru.</i></p> <p>We cannot communicate with words, so we use gestures to try and understand each other.</p>	<p>掛け声で、一斉に動くことにしよう。 <i>akegoe de issei ni ugoku koto ni shiyō.</i></p> <p>Let's coordinate our movements by shouting out.</p>

岸に向かって、漕ぎ出した。

Kishi ni mukatte kogidashita.

We started rowing out to shore.

旅行は、日常の単調さから解き放ってくれる。

Ryokō wa nichijō no tanchōsa kara tokihanatte kureru.

Travel frees us from the monotony of daily life.

極寒の地にだけは行きたくない。

Gokkan no chi ni dake wa ikitaku nai.

I'll go anywhere but a severely cold place.

GRAMMAR

Natsuko: オーディオブログ第4シーズン第18課 「ソーラン節」

Yuichi: こんにちは ゆういちです

Natsuko: なつこです。今回紹介する歌は何でしょう？

Yuichi: 「ソーラン節」です。

Natsuko: 今までこのブログで紹介してきた歌は、童謡だったんですけど、ソーラン節は「民謡」といわれるジャンルの歌ですね。 **Yuichi:** はい。民謡ってどんなものなんでしょう。さっそくブログを聞いてみましょう。

Natsuko: 代表的な民謡として、このレッスンでは「ソーラン節」を取りあげました。ゆういちさん、この曲は知っていましたか？

Yuichi: もちろん知っていましたよ。なつこさんはどうですか？

Natsuko: 私もたぶん、歌いだしのところだけは聞いたことがあると思います。

Yuichi: 僕も同じですね。たぶん全部、あの歌詞とかは、覚えてないですね。

Natsuko: わかんないですね。リスナーの皆さんは日本の民謡って聞いた事ありますか？

Yuichi: どうでしょうね。結構、独特な歌い方ですよ。

Natsuko: そうですね。民謡は、ビブラートや裏声を使わないで、地声の高い声で歌うんですって。

Yuichi: そうですね

Natsuko: 西洋のオペラだと、のどの奥を空けて歌う歌い方なんですけど、でも日本の民謡の歌い方は逆で、のどの奥を閉めるような歌い方をするんだそうです。

Yuichi: へーそうなんですか。発声方法が違うということですね。

Natsuko: ブログに、「近年では、テレビドラマで中学生が歌い踊って有名になった現代風のアレンジも聞くことができます。」とありましたが、ゆういちさんは、このドラマはご存知ですか？

Yuichi: たぶんこれはTBSテレビの「金八先生」という番組だと思います。

Natsuko: 「金八先生」というのは、中学校を舞台にしたドラマで、とても人気のあったシリーズですよ。

Yuichi: たしか、ソーラン節に合わせて、中学生達が力強いダンスをしていたと思いますね。力強くて、カッコいいアレンジになっていました。今ならたぶんYoutubeとかで見れると思いますよ。そのドラマの影響なのか、それとも、そのドラマが時代を反映しているのかはわかりませんが、体育祭とかで、ソーラン節を踊る小学校とか中学校とかも多いみたいです。

Natsuko: ああ、だから、ブログに、「ソーラン節は「全国的に、幅広い世代に親しまれている」って書いてあったんですね。

Yuichi: 実は、僕も小学校の頃にですね、運動会の出し物で、ソーラン節を踊りました。

Natsuko: そうだったんですか。確かに小中学校の運動会や体育祭って、割と日本の伝統的な音楽を使っただけの演出があったりしますよね。

Yuichi: 僕はそのとき「ソーラン節」が労働歌だったというのは知らないで踊っていました。鉢巻をして、ぱっぴを来て踊る姿は なかなか いいんじゃないですかね。

Natsuko: 見てみたかったですね。鉢巻ってというのは、バンダナみたいなやつですよ。ハッピーというのは昔の作業着みたいなものです。日本風のジャケットとでも言うんですかね。

Yuichi: 日本のお祭りに行くと、ハッピーに鉢巻の男の人をよく見ますがね。で、そのソーラン節のリズムってというのは、とてもシンプルなんですけど、とても力強いというところがポイントだと思います。是非みなさん聞いてみてください。とても元気になれると思います。

Natsuko: ネットなんかでビデオクリップも探せますからね。

Natsuko: ということで、今回のレッスンは日本の民謡。「ソーラン節」を紹介しました。

Yuichi: リスナーの皆さんの国にも民謡はありますか？どんな民謡がありますか？是非教えてください。

Natsuko: それ聞きたいですね。それではまた **Yuichi:** さようなら。